

健康長寿のまちを支えます

令和4年号

シルバーにのみや

二宮町シルバー人材センターだより

令和4年11月25日 発行

一般社団法人
二宮町シルバー人材センター

〒259-0132 神奈川県中郡
二宮町緑が丘1丁目10-6
TEL (0463) 71-0681
FAX (0463) 72-1398
<http://webc.sjc.ne.jp/ninomiya/index>

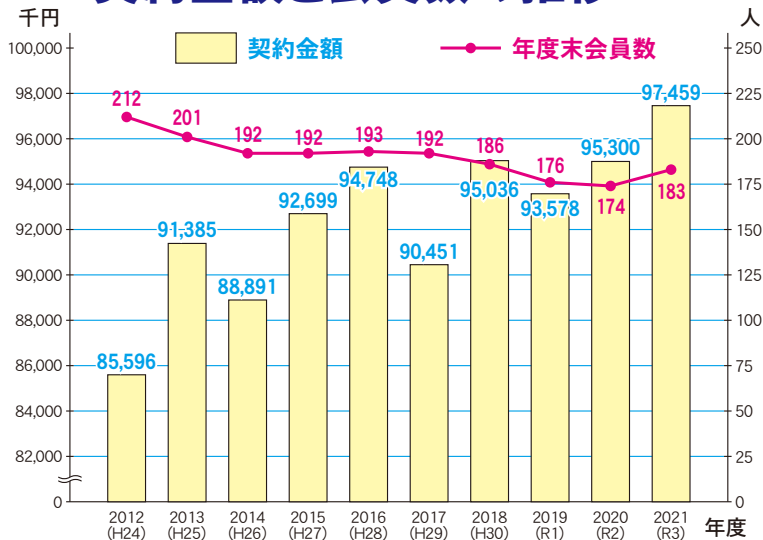
二宮町シルバー人材センターは、平成24年度に生きがい事業団から一般社団に衣替えしてまる10年を迎えました。組織替えの目的は会員の参加・参画、組織の強化でした。この間、町内の小口需要を着実に取り込み、受注件数などでは大きな成果を上げてきました。その一方、会員数の拡大というもうひとつのテーマは課題として残っています。

この10年間の実績を県内町村部との比較（令和3年度県シルバーセンター調べ）で見ると、二宮町シルバーは受注件数で1位（1,555件）、契約金額で3位（9,746万円）と全14町村の中でも目立つ存在です。ナンバー1の受注件数は大磯町の約2倍、中井町の約5倍。両町に比べて町契約（公共部門）が少ないにもかかわらず、総件数が多いのは、それだけ民間の小さな注文をたくさん拾い上げてきたことを示しています。総件数は10年前に比べ5割も伸びています。この件数は箱根町や真鶴町の約8倍です。

一般社団移行から10年 県内町村部比較 受注件数 No.1 会員確保に課題

もう一方の実績指標である登録会員数は183人で、これは14町村中の4番目。第1位の愛川町の約半数、寒川町や葉山町にも見劣りします。グラフにあるように、この10年は漸減が続いており、10年前比では29人、14%減という厳しい状況です。近隣の大磯町131人、中井町134人を上回ってはいるものの、上位の愛川町は360人、寒川町は259人、葉山町は197人です。

契約金額と会員数の推移



団塊世代が後期高齢者に加わるなど高齢化が一層進む中、福祉や除草、植木剪定など家屋回りの引き合いが増えることが予想されます。こうしたサービスの担い手確保の努力がますます重要になって来ます。



脇 俊二 理事長

もっと多くの方に

元気なシニアの活躍はますます重要になってきています。健康づくりや社会参加の効用を訴え、仕事の省力・省人化や就労単価のアップにも努めながら、もっと多くの方に加わってもらえるよう働きかけて行きます。

「10年選手」に聞くシルバー就労

健康と生きがいと交流と



弓道とシルバーは健康の両輪



高瀬 元春 (77)
町民センター管理

— シルバー人材センターに入ってからまる10年になるそうですね。

もう10年。あつという間でしたね。施設の鍵の開閉から始め、ゴミ出しを頼まれたこともあり、その後はずっと町民センターの施設管理、利用者の接

客などを担当しています。毎月7日から10日間の仕事。日々の生活の中にすっかり組み込まれています。やはり、健康だったからこそ続けてこられたんでしょうね。

— シルバーとの10年間の関わりをどう感じていますか。

たくさんの人と接してきたことが一番大きいですね。ここにはたくさんの方が入りしめます。職場の同僚や地域の知り合いはもちろんですが、いままではなかった人との交流もある。シニア世代になると、楽しく刺激ある親交が減ってしまいがち。そんな機会を与えてもらったのはとても良かった。

— 高瀬さんと言えば、「弓道の有名人」ですよ。

弓道はもう60年以上、高校生の時から。70人の大世帯の弓道協会の会長を仰せつかっていま

す。自由に使える道場もあるの
で、中学生からお年寄りまで練習に励んでいます。会員の半分は女性です。私自身は教士七段をいただいています。さらに上を目指して鍛錬中です。県大会などには選手として出場しま

元気に働くからこそ元気に



野谷 保 (80)
吾妻山公園管理

— 就業開始が平成20年。長らく関わってきました。

数えれば16年になる。当時の生きがい事業団の理事長に声を掛けられて始めてから吾妻山公園の管理畑一筋。話には聞いても他のシルバー職場は全く知りません。リーダーも職種代表の理事も務めあげたので、来年3月には退職します。

— こんなに長く続けられた秘訣は？

。見てくれる人の心を動かす「うまい引き」を目指しています。健康、仲間づくりにつながるシルバーでの就業と弓道は、人に迷惑のかからないうちはやり続けたいですね。

ひとつは健康に恵まれたこと。もともと丈夫な方ですが、週3回、隔日ペースで山に登っての作業が健康づくり、体力の維持管理にとっても役立ちました。「元気がだから働く、働くから元気」の言葉そのものですよ。家でゴロゴロ、家庭菜園をいじる程度であれば、そうは行かなかったでしょうね。

もう一つ、吾妻山の仕事は木枝を伐ったり、草を取ったり、種を撒いたり、道を直したりと様々なんですよ。それぞれ工夫もいるし、技量もいるので飽きることはない。眺望の良い場所

で、同僚や山に登って来る人たちとの交流もある。これも良かった。気持ちよく働きました。恵まれていたと思いますよ。

— 吾妻山は二宮のシンボル。この16年でどう変わりましたか？

菜の花、さくら、コスモスと、季節の花の流れとともに仕事も流れ、変わっていく。来園者の動きも季節によって違う。その意味では変わってないですね。小動物を飼っていたのをやめて芝桜にしたことくらいかな。

かつては役場裏から山のとっぺんまで行列ができたことがありました。今は菜の花もあちこちの町で見られるようになった。ただ、「二宮の宝」をこの町内のシルバーが裏方として支える今の形はとても良い。これからも続いて欲しいですね。



生活にシルバーのリズム

福地 一美

町民センター：家事支援



昨夏、東京都内から二宮町に越してすぐシルバーに登録。今は町民

センターの清掃や家事支援に携わる。早朝に登る吾妻山での健康体操をずっと続けている。「アクティブシニア」と言う言葉は、こういう方のごことを指すのだろう。

高齢になってからわざわざ知らない町に移り、すぐシルバーの門を叩いたのは、「孫の世話が一段落したので、海の見える町で一人で過す自由な時間が欲しかった。生活にメリハリをつけるためには、週2、3回は決まったスケジュールを入れないと」。何を聞いても、ポンポンと答えが返ってくる。東京都庁や教育現場に長く勤めたキャリアが言葉の端々ににじむ。

持ち前の明るい性格もあってか、この町に来てからまだ1年ほどしか経っていないにもかかわらず、交流の輪はどんどん広がっている。パークゴルフをやったり、菜園づくりに加わったり。「東京にいた時よりも友だちが多くなりつつある。たまに来る子供たちも驚いているわ」。今考えているのは、長く続けてきた俳句作りを再開することだそう。

ただ今活躍中

「目黒シルバー」の

経験を生かす

田口鉄郎 (72)

除草・草取り



田口さんも東京都からの転入組。2年前に娘夫婦の

住む二宮に居を移した。現役時代は酒問屋の経営全般に関わり、目黒区のシルバー人材センターで5年近く働いた経験もある。今年6月からは除草グループで就業中。

尊敬する先輩から「とりあえずやってみろ。やめるのはいつでも出来るんだから」と言われ、実践している。ラ

土に触れる楽しさ

阿部和夫 (64)

吾妻山公園



「シルバーでやった方がいいぞ」。20年来の付き合いの仲間と背中を押され、退職から間もなく登録した。登録時の希望がそのまま通り、今年の4月から今の職場に。暑かったこの夏を乗り切り、順調な「山の生活」を送っている。

吾妻山での就労を選ぶのに迷いはなかった。現役時から体力維持のために頻繁に登っていた。大手電機的设计職場ではずっとデスクワークだったので、

グビーや登山で鍛えたので、週2回、5時間の就業は難なくこなしている。除草は希望者の少ない職種だが、「休憩をとりつつのグループ就業だから何でもない。やってみればわかりますよ」。見知らぬ土地での慣れない作業のはずだが、ゆとりをもってこなしている風だ。空いているときは友人と連れ立って近郊の山歩きを楽しむ。ともかく、「家に閉じこもる生活はいやだし、この町をもっと知りたい」ので、冬場も定期で就業できる職種を探したいと意欲的だ。目黒区シルバーの経験を生かすのはまだこれからだ。

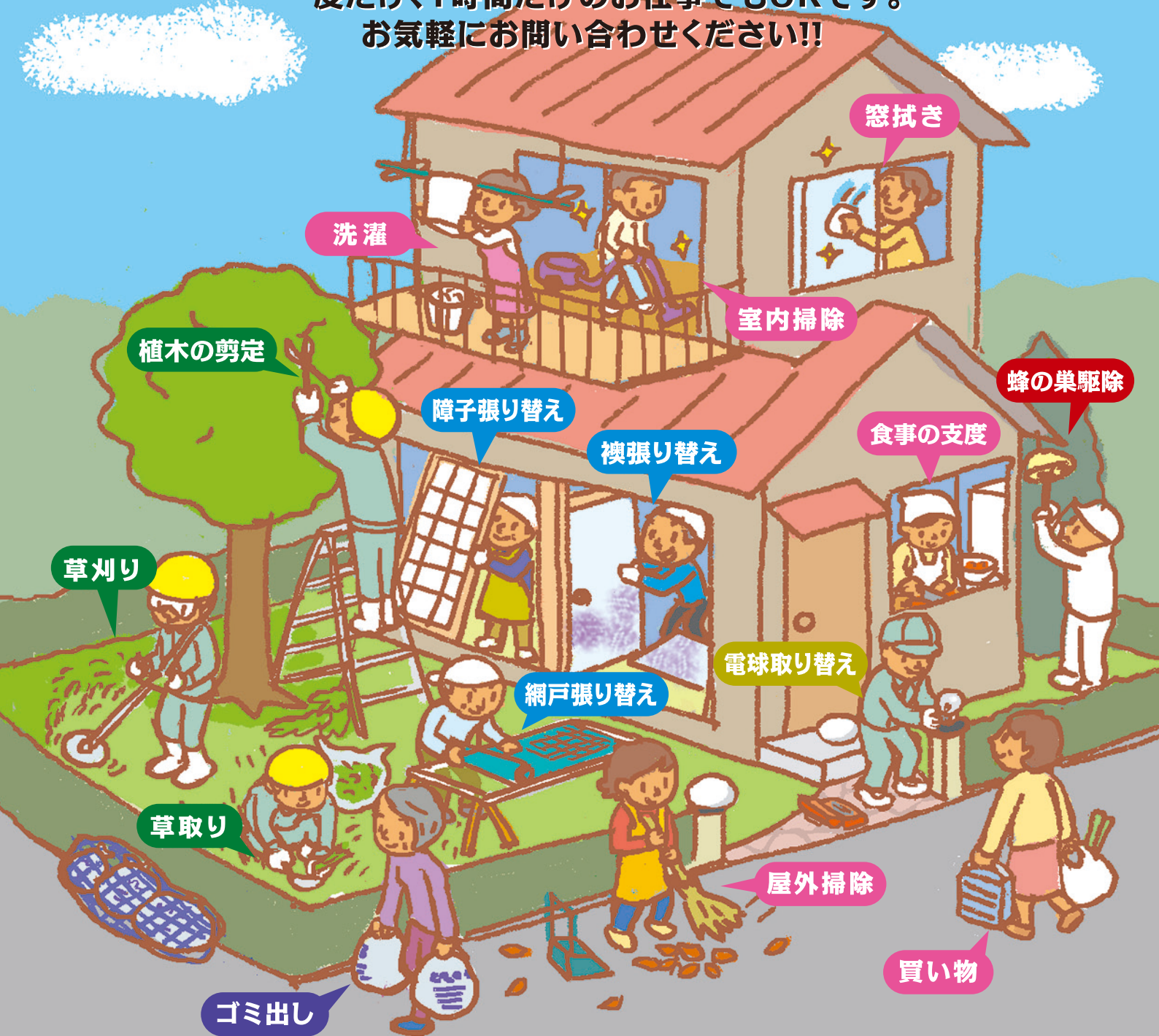
自然の中で土に触れる生活をしてみたいとの思いがあったからだ。吾妻山公園の管理作業は菜の花(冬)、さくら(春)、コスモス(秋)という季節の花の開花とともに動いていく。今は早や咲き菜の花の間引き時期。まだ通年の作業は経験していないが、「もともと寒さには強い。体力にも自信があるので大丈夫」と自信ありげだ。長らくやってきたソフトボールクラブに加え、最近料理の新メニューにも挑戦している。

20人近くいる職場の最若手。「わからないことはどんどん聞く。様々なキャリアの先輩たちの経験談を聞けるのも楽しいですね」。

二宮町シルバー人材センターが

暮らしをお手伝い!!

豊かな知識と経験を持った
二宮町住民のシルバー会員が
良心的な価格で親切丁寧なサービスを致します。
一度だけ、1時間だけのお仕事でもOKです。
お気軽にお問い合わせください!!



仕事のご依頼
お問い合わせ

0463-71-0681

月～金(祝日休み)
9:00～17:00

一般社団法人

二宮町シルバー人材センター



元気だから働く!働くから元気! シルバー会員募集中!!

